



## 2019年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月15日

上場会社名 株式会社ファンドクリエーショングループ 上場取引所 東  
 コード番号 3266 URL <http://www.fc-group.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 克洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 阪本 浩司 (TEL) 03 (5212) 5212  
 四半期報告書提出予定日 2019年10月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年11月期第3四半期の連結業績 (2018年12月1日～2019年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年11月期第3四半期	849	△21.5	△107	—	△125	—	△128	—
2018年11月期第3四半期	1,082	△30.3	62	△74.2	59	△74.7	31	△84.3

(注) 包括利益 2019年11月期第3四半期 △129百万円( —%) 2018年11月期第3四半期 37百万円( △82.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年11月期第3四半期	△3.42	—
2018年11月期第3四半期	0.85	0.84

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年11月期第3四半期	3,105	2,155	69.2
2018年11月期	3,139	2,318	73.8

(参考) 自己資本 2019年11月期第3四半期 2,149百万円 2018年11月期 2,316百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年11月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2019年11月期	—	0.00	—	—	—
2019年11月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年11月期の配当金につきましては、現在は未定です。

### 3. 2019年11月期の連結業績予想 (2018年12月1日～2019年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,030	74.8	195	—	190	—	140	—	3.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年11月期 3Q	37,492,371株	2018年11月期	37,492,371株
2019年11月期 3Q	27,500株	2018年11月期	27,500株
2019年11月期 3Q	37,464,871株	2018年11月期 3Q	37,452,195株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2018年12月1日～2019年8月31日)における我が国経済は、企業収益の向上や雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米中間の貿易摩擦問題が世界経済に与える影響、英国のEU離脱問題などの政治情勢、それに伴う金融資本市場の変動などの懸念もあり、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業が属する不動産業界では、低金利環境下での良好な資金調達環境を背景とした国内外の投資家の物件取得意欲に支えられ、不動産市場の回復は鮮明となってきておりますが、その一方で、今後の新規物件の取得にあたっては、物件の取得価額と収益性のバランスを慎重に見極めることが必要となってきております。また、太陽光発電業界におきましては、長期間にわたって安定して高い利回りが期待できる点、残価リスクがほぼない点、現在の良好な資金調達環境などにより、利回り商品としての需要拡大が見込まれております。

こうした状況の下、アセットマネジメント事業では、引き続きファンド運用資産残高、不動産等受託資産残高の増加に向けて、投資家ニーズに適合した魅力的な商品開発に努めております。当第3四半期連結累計期間においては、前期に設立した民泊等宿泊事業ファンドの追加募集を行いました。

また、インベストメントバンク事業では、割安な不動産物件への投資・バリュアアップを行うべく国内外の物件のソーシングに努めました。国内においては販売用不動産の取得を行ったほか、新規開発用の不動産取得を行い、レジデンシャル物件として開発を推進いたしました。また、東京都大田区の開発物件については、リースアップを行い満室稼働とした上で販売いたしました。海外不動産につきましては、バリュアアップ施策を行った米国カリフォルニア州の物件を販売し、テキサス州の物件についても引き続きマーケティングを進めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高849百万円(前年同期比21.5%減)、営業損失107百万円(前年同期の営業利益は62百万円)、経常損失125百万円(前年同期の経常利益は59百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失128百万円(前年同期の親会社株主に帰属する四半期純利益は31百万円)となりました。

## &lt;アセットマネジメント事業&gt;

当第3四半期連結会計期間末において、当社グループが運用するファンド運用資産残高は161億円(一部円換算US\$1.00=106.46円)、当社グループがアセットマネジメント業務を受託している不動産等の受託資産残高は223億円となりました。

不動産ファンドにつきましては、アセットマネジメントフィー及びファンド管理報酬等を計上いたしました。証券ファンドにつきましては、外国投資信託の管理報酬等を計上いたしました。また、太陽光発電ファンド事業につきましてもアセットマネジメントフィー等を計上いたしました。この結果、アセットマネジメント事業全体では、売上高198百万円(前年同期比9.7%減)、セグメント利益48百万円(前年同期比36.2%減)となりました。

## &lt;インベストメントバンク事業&gt;

不動産投資等部門では、国内外の販売用不動産の売却や保有不動産の賃料収入等により597百万円を計上いたしました。証券投資等部門では、金融商品仲介業務による報酬等により53百万円計上いたしました。この結果、インベストメントバンク事業全体では、売上高651百万円(前年同期比24.5%減)、セグメント利益40百万円(前年同期比73.8%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末において、資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

## (資産の状況)

流動資産は、前連結会計年度末比、未収入金が64百万円、未成工事支出金が20百万円、立替金が33百万円増加し、一方で現金及び預金が201百万円、有価証券が20百万円減少したこと等により、全体では28百万円減少し2,457百万円となりました

固定資産は、前連結会計年度末比、投資有価証券が9百万円減少したこと等により、全体では6百万円減少し648百万円となりました。

## (負債の状況)

流動負債は、前連結会計年度末比、借入金が140百万円増加したこと等により、全体では135百万円増加し888百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末比、その他の項目の長期前受収益が7百万円減少したこと等により、全体では7百万円減少し60百万円となりました。

(純資産の状況)

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失128百万円を計上したこと等により、前連結会計年度末比では162百万円減少し2,155百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における連結業績は、上記のとおりであり、2019年1月15日付で発表いたしました連結業績予想に変更はありません。なお、今後の業績等につきましては、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	893	691
売掛金	20	20
未収入金	12	76
有価証券	105	85
営業投資有価証券	403	396
販売用不動産	693	776
未成工事支出金	49	70
立替金	115	148
その他	191	189
流動資産合計	2,485	2,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8	7
工具、器具及び備品（純額）	10	14
土地	402	402
有形固定資産合計	421	424
無形固定資産		
投資その他の資産	0	0
投資有価証券	113	104
その他	119	119
投資その他の資産合計	233	223
固定資産合計	654	648
資産合計	3,139	3,105
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	652	795
1年内返済予定の長期借入金	1	—
未払金	62	42
未払法人税等	5	1
賞与引当金	—	12
預り金	3	4
前受収益	13	14
その他	14	18
流動負債合計	752	888
固定負債		
その他	68	60
固定負債合計	68	60
負債合計	821	949

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,171	1,171
資本剰余金	664	664
利益剰余金	433	267
自己株式	△1	△1
株主資本合計	2,267	2,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48	47
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益累計額合計	48	47
新株予約権	2	6
純資産合計	2,318	2,155
負債純資産合計	3,139	3,105

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年12月1日 至2018年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年8月31日)
売上高	1,082	849
売上原価	618	560
売上総利益	463	289
販売費及び一般管理費	400	396
営業利益	62	△107
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	3
その他	5	0
営業外収益合計	8	4
営業外費用		
支払利息	10	8
資金調達費用	0	5
為替差損	—	7
営業外費用合計	11	21
経常利益	59	△125
特別利益		
その他	—	0
特別利益合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	59	△125
法人税、住民税及び事業税	25	2
法人税等調整額	1	0
法人税等合計	27	3
四半期純利益	31	△128
親会社株主に帰属する四半期純利益	31	△128



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益	31	△128
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	△0
為替換算調整勘定	△0	△0
その他の包括利益合計	5	△1
四半期包括利益	37	△129
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37	△129

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年12月1日 至 2018年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	アセットマネジメント事業	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門	証券投資等部門	
売上高				
外部顧客への売上高	220	855	6	1,082
セグメント間の内部売上高又は振替高	40	—	—	40
計	261	855	6	1,123
セグメント利益又は損失(△)	76	176	△23	229

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	229
セグメント間取引消去	20
全社費用(注)	△187
四半期連結損益計算書の営業利益	62

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	アセットマネ ジメント事業	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門	証券投資等部門	
売上高				
外部顧客への売上高	198	597	53	849
セグメント間の内部売上高又は 振替高	8	—	—	8
計	207	597	53	858
セグメント利益	48	31	8	88

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	88
セグメント間取引消去	3
全社費用(注)	△199
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△107

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。